

(様式1-1)

## 令和3年度医療機関再編統合等支援事業計画書

### 1. 整備事業の目的及び地域医療構想との関係

<p><b>(整備の目的)</b></p> <p>伊丹市内にある市立伊丹病院と公立学校共済組合近畿中央病院は、市域の2次救急医療を担う急性期病院として、中核的な医療機関としての役割を果たしてきた。</p> <p>しかしながら、両病院ともに近年、施設の老朽化が進み建替えの時期を迎えるとともに、事業運営は厳しい経営状況下であり、医師の確保も困難とされる中、両病院が統合することで持続的・安定的な地域医療体制を構築することができると判断し、統合再編基幹病院を整備することとした。</p> <p><b>(地域医療構想との関係)</b></p> <p>両病院が所在する阪神（阪神北準圏域）では、地域医療構想で掲げる必要病床数は高度急性期、回復期病床が特に不足していることから、医療需要に応じた提供体制の見直しや充足が求められている。</p> <p>このような状況を踏まえ、統合新病院においては、急性期病床から圏域内で不足している高度急性期病床へ病床転換を図るとともに、過剰となっている急性期病床を削減することで地域医療構想の実現に寄与する。</p> <p>また、他圏域への流出が多く見られる新生物や循環器系疾患などに対応できる機能を有する総合新病院を整備することで、阪神（阪神北準圏域）の完結率の向上を目指す。</p> <p><b>(新興感染症への対応)</b></p> <p>統合新病院の感染症への対応については、現在の両病院を上回る病床を確保する予定であり、引き続き、県立病院など感染症指定医療機関をサポートする基幹病院としての役割を果たすことで、新興感染症入院体制の強化を図る。</p>
--

### 2. 再編統合等関係医療機関の概要

#### 申請者医療機関

開設者（設置者）	施設名		所在地		
伊丹市長 藤原 保幸	市立伊丹病院		兵庫県伊丹市昆陽池1丁目100番地		
施設の規模及び構造					
(敷地面積)	25,623.51㎡	(自己所有地、借地の別)		自己所有地	
(建物構造) 鉄筋コンクリート造 6階建	(建築面積)		9,072.84㎡		
	(延べ面積)		29,294.76㎡		
病床機能（前年度病床機能報告の稼働病床）					
区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
稼働病床	87床	315床	床	床	402床

相手先となる医療機関

開設者（設置者）	施設名		所在地		
公立学校共済組合 理事長 金森 越哉	公立学校共済組合 近畿中央病院		伊丹市車塚3丁目1番地		
施設の規模及び構造					
(敷地面積)	23,288.68㎡		(自己所有地、借地の別) 自己所有地		
(建物構造) 鉄骨・鉄筋コンクリート造 7階建			(建築面積)	8,988.162㎡	
			(延べ面積)	29,734.798㎡	
病床機能（前年度病床機能報告の稼働病床）					
区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
稼働病床	4床	394床	床	床	398床

※関係医療機関が2つ以上ある場合は、記入欄を追加すること

3. 再編統合等整備計画

(1) 整備区分 ※該当する区分に○

	新增改築	改修	改装	医療機器
① 医療機関の統廃合	○			○
② 病床機能の集約				

※医療機器の整備については、病床機能の転換が伴う場合のみ対象

(2) 整備施設の概要（見込）

開設者（設置者）	施設名		所在地		
伊丹市長 藤原 保幸	市立伊丹病院		兵庫県伊丹市昆陽池1丁目100番地		
施設の規模及び構造					
(敷地面積)	29,559.52㎡		(自己所有地、借地の別) 自己所有地		
(建物構造) 鉄筋コンクリート柱・鉄骨梁混合構造 8階建（地下1階）			(建築面積)	約11,500㎡	
			(延べ面積)	約56,400㎡	

(3) 整備計画 ※該当する箇所へのみ記入

①医療機関の統廃合

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
統合前 病床総計	91床	709床	床	床	800床
統合後 病床総計	200床	402床	床	床	602床
差引	109床	▲307床	床	床	198床

※統合前病床総計は、「2. 再編統合等関係医療機関の概要」の関係する医療機関の稼働病床数の合計を記入

※統合後病床総計は、新たに整備する施設の病床数を記入

②病床機能の集約

病床機能の集約に関連する医療機関の病床数の総計

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
集約前 病床総計	床	床	床	床	床
集約後 病床総計	床	床	床	床	床
差引	床	床	床	床	床

※集約前病床総計は、「2. 再編統合等関係医療機関の概要」の関係する医療機関の稼働病床数の合計を記入

(ア) 集約する医療機関

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
集約前	床	床	床	床	床
集約後	床	床	床	床	床
差引	床	床	床	床	床
＜集約に伴い整備する病床数＞				床	床

(イ) 集約される医療機関

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
集約前	床	床	床	床	床
集約後	床	床	床	床	床
差引	床	床	床	床	床

(4) 整備事業の内容

事業期間	事業期間	着工：令和4年4月1日 ～ 竣工：令和8年12月31日
事業費	総事業費	38,100,000,000円
	当該年度事業費	0円

4. 事業費及び補助申請(見込)額

総事業費 (対象経費)	建物及び附属 設備の整備額	医療器具等 の購入額	基準額	補助見込額
	38,100,000,000円 (29,000,000,000)	30,900,000,000円 (21,800,000,000)		

※基準額は対象病床数×整備区分ごとに定めた基準単価  
 ※補助見込額は対象経費と基準額の低い額の1/2相当額

[基準額]  
 新增改築：5,500千円×602床=3,311,000千円  
 医療機器：22,000千円

※補助見込額は現時点の補助要綱により積算(最終補助額は、交付決定年度の補助要綱により積算する。)

